

日用品も焼いた虫明焼

虫明陶器製造所の記録から

虫明焼は、江戸時代中期に岡山藩の筆頭家老であった伊木家の御庭窯から始まったといわれています。



桜絵茶碗（森香州作）

御庭窯として始まったと伝えられる虫明焼ですが、いわゆる名工の手による名品ばかりであったかという点とそうではなく、安価な日用雑器も多く焼かれ、一般家庭でも使われていたという事実は意外に知られていません。

また、窯の歴史も、一時途絶えたり、その後復興したり、時代の変遷とともに紆余曲折があります。江戸時代末の動乱期には、伊木家から虫明の森角太郎に窯が譲られました。

虫明で焼かれた虫明焼は、茶碗や水指など、釉薬をかけた京焼系の瀟洒な茶道具が人気となりました。江戸時代末期、茶人としても有名な伊木家第14代伊木忠澄（のちに三猿齋と号



古虫明掛分竹絵五合徳利

角太郎は名工真葛香山（宮川香山）から陶技を学びつつ、窯の経営に努力しましたが、結局経営難に陥ってしまいます。

そのような中、沈滞していた虫明焼を復興するべく、角太郎の息子である森香洲（本名彦一郎）を職長とする虫明陶器製造所が設立されました。明治28（1885）年のことです。

その虫明陶器製造所の、明治30年ごろの売り上げを記録した帳簿が残されています（『邑久町史 史料編（下）』177頁）。

それを見ると、各種の碗・鉢・茶器・酒器・花器をはじめとして、尿瓶や湯たんぼまで作られていた記録が残っています。さらに、その帳簿には生産量や価格も詳しく記されています。

例えば、3月17日から7月15日までの4カ月間に出荷された汁碗の総数は5,227個にまで達しています。単価は、最も上等なものでも8厘5毛、疵物は1厘という安さでした。同じく燗子（酒を温めるための酒器）は642本で、1升入の上等品でも7銭、最も多く作られている5合入で2〜3銭です。

その他、高価な部類としては15銭の花瓶などもまれにあります。それでも油あげ1枚が1銭の当時にあって、決して高い値段ではないようです。



虫明焼展示室（瀬戸内市中央公民館）

販売先については、個人売りとみられるものもあれば、邑久郡内や岡山市内の業者とみられる人物に大量に売っている場合もあり、販路の開拓が図られている様子もうかがえます。

近代化の荒波の中で、虫明焼の火を守り続けていくためには、こうした民間の需要にこたえて安い製品を大量生産するという経営努力が不可欠であったと思われます。なお、瀬戸内市中央公民館（旧邑久町公民館）の「虫明焼展示室」では、近代の虫明焼作品がまとまって鑑賞できます。

春の交通安全県民運動が始まります

瀬戸内市内で発生した平成20年中の交通事故件数は780件で、19年より若干減っているものの、そのうち人身事故が226件で300人が負傷しています。また、19年に続き、高齢者1人が踏切事故で亡くなっています。

こうした現状を踏まえ、市民一人一人が平素の交通行動を振り返り、交通ルールに従った思いやりのある行動をとることが極めて重要です。



交通ルールを守って安全運転を心掛けましょう

「平成21年春の交通安全県民運動」4月6日（月）～15日（水）の10日間スローガン「守ろうやあ あなたもわたしも 交通ルール」

- 【最重点目標】
- ・子どもと高齢者の交通事故防止
 - 【重点目標】
 - ・すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ・自転車の安全利用の推進
 - ・飲酒運転の根絶
 - ・交差点における正しい通行の徹底

この期間中、本市においても市内各所において、交通ルール遵守を広く市民に呼び掛けています。ドライバーはもちろん市民すべての人たちが交通ルールを守り、交通事故を起こさない、また交通事故に遭わないよう安全な行動を心掛けましょう。

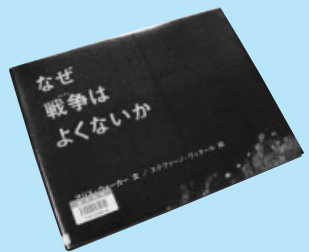
■問い合わせ先
市地域安全推進室
☎0869-22-3904

今月のおすすめ本



なぜ戦争はよくないか

アリス・ウォーカー 著
ステファーン・ヴァイタル 絵



姿の見えない「戦争」が、人々の平和な日々を忍びより、やがてすべてを破壊する。戦争が何なのか。その怖さ、恐ろしさを、深みのある文章と力強い絵で静かに語りかける絵本です。

これから「お墓」どうしよう!?

NPO法人ら・し・さ 監修



嫁ぎ先のお墓には入りたくない。遠すぎる実家のお墓を移転したい。子どもにお墓の負担をかけたくない。そんな人のために、お墓と埋葬法の基本から最新情報、お墓選びの実例まで紹介しています。

上記の本は市内各図書館・室で借りられます。

■問い合わせ先

牛窓図書館 ☎0869-34-5653
中央公民館図書室 ☎0869-22-3761
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501
ホームページ <http://lib.city.setouchi.lg.jp/>

定額給付金の申請書発送は4月中旬以降の予定

定額給付金に関して、テレビや新聞などで報道されていますが、本市では、4月中旬以降に申請書を発送する予定です。給付に関する詳細は、本紙折り込みチラシをご覧ください。

なお、市からは郵送により申請を求めますので、市役所職員が市民の皆さんに電話を掛け、ATMの操作などを指示することは、絶対にありません。定額給付金の給付を装った、振り込み詐欺や個人情報取得には、十分ご注意ください。

■問い合わせ先 市企画振興課

☎0869-22-1031

子育て応援特別手当を支給

厳しい経済情勢において、多子世帯の子育て負担に対する配慮として、第二子以降の児童（平成14年4月2日〜平成17年4月1日生）に、一人当たり3万6千円を支給します。

該当家庭への申請書の発送は、4月中旬以降を予定しています。詳しくは、左記にお問い合わせください。

■問い合わせ先 子育て支援課

☎0869-26-5947